

## ニュー・アーバニズムの構築と地域活性化

岩本俊彦\* 笠原祥平\*\*

人口減少、高齢化の様相を示すわが国の現代社会において、持続可能性を視野に入れて、地域活性化を図るために、ニュー・アーバニズムのコンセプトを援用したまちづくりのための提案と課題を取りまとめた。

事例研究の対象として千葉市若葉区の活性化への取組みを取り上げた。

キーワード：ニュー・アーバニズム、地域活性化、サステナブル指標、成長管理

### The Construction of the New Urbanism and Regional Vitalization

Toshihiko IWAMOTO\* and Shouhei KASAHARA\*\*

For the attempt of the activation of the area, the suggestion and the subject for the shaping towns which utilize the concept of new urbanism were summarized, from the sight of sustainability, in modern society showing the phase of decrease in population and aging.

The grapple with vitalization at Wakaba Ward in Chiba city were argued as a case.

**Keywords:** new urbanism, regional vitalization, sustainable index, growth management

---

\*東京情報大学 総合情報学部 総合情報学科  
Tokyo University of Information Sciences, Faculty of Informatics

2013年7月4日受理

\*\*東京情報大学大学院 総合情報学研究科  
Tokyo University of Information Sciences, Graduate School of Informatics

## はしがき

人口減少、高齢化の進むわが国の現代社会において、地域で暮らす人達が誇りをもち、豊かな気持ちで過ごせるような仕組み、地域活性化への取り組みを、自治体だけでなく、企業や周辺の大学などが手を携えて進めていくことが求められている。

地域活性化や地域の個性を生かしたまちづくりの手法として、住民投票やパブリック・コメントなどを代表とする多様な形態の住民参加、観光事業の活発化によるまちおこしをはじめとして、コンパクト・シティ（compact city）構想、地域ブランド化、景観重視のまちづくり、地域独自のキャラクターの設定、歴史・地域特性に応じたイベントの開催、PFI（private finance initiative）事業やPPP（public private partnership）、コミュニティ・ビジネスの展開、などが、各地で検討、実施されている。平成10年版環境白書で成長管理が取り上げられたことを契機に、サステナブルな（持続可能な）社会の実現、環境への配慮、安心安全の確保を目的に、新たに、包括的なニュー・アーバニズムのコンセプトを援用したまちづくり、スマート・グロース（smart growth）運動が論議されるようになっていく。

そうした状況下で、『若葉区高齢化対策地域予測システム構築』の研究報告書（平成24年東京情報大学）を踏まえて、地域別人口動態をもとに、地域活性化のためのニュー・アーバニズムの構築を中心の課題として「千葉市若葉区地域活性化計画」の策定を企図して、研究成果を取りまとめた。

## 1. ニュー・アーバニズムとサステナブル・アプローチ

### 1-1. ニュー・アーバニズムのコンセプト

アメリカでは、都市計画に対する国家レベルの法律はないものの、州ごとに、地方政府によるゾーニング、開発権の移転などの取り組みが

図られてきた（民間都市開発推進機構都市研究センター編 2004）。

1980年代にアメリカでは、急激な住宅供給による行き過ぎた郊外開発や過度な自動車依存に対する批判、空洞化が進み活気を失った中心市街地の回復の主張から、伝統回帰的な都市計画、コンパクト・シティ、スモール・タウン志向をベースとしたニュー・アーバニズム（new urbanism）とよばれる新たな都市計画が提唱された。

ニュー・アーバニズムとは、郊外化により無秩序に広がったまちを伝統的なコミュニティが持つ価値によって再構築することを目指す都市設計論である。近代化・工業化により失われた人間的なコミュニティなどの都市要素と社会的機能を再生して、公共交通機関を活用しながら、公共空間の活用を考慮した公共の場の創成も視野にいれている（カルソープ 2004）。

ニュー・アーバニズムは、公共空間の創出、公共交通機関の活用、バリアフリーで歩行者にやさしいまち、歴史的遺産を大切に、住民同士の交流促進を図っていくことを目指している。こうした「住みやすさ」を重視する方向性は、わが国の都市計画やまちづくり、再生においても考慮すべき事項となっている。

1991年に策定された、持続可能な開発指針であるアワニー原則（The Ahwahnee Principles）や1996年に批准されたニュー・アーバニズム憲章（Charter of The New Urbanism 1996年第4回 New Urbanism 会議で批准）など、ニュー・アーバニズム理論の目的と明文化された基本原則に基づく各地での展開（アメリカのフロリダ州の「シーサイド」（Seaside）のような伝統的近隣住区開発、公共交通の徒歩圏内に都市機能を作る公共交通志向型開発）に注目が集まった。<sup>注3</sup>

わが国においても、産業優先、効率性重視で、各地で都市機能の郊外化が進み、郊外幹線道路へのロードサイド店舗の出店等により、画一的で個性に乏しい街並みが蔓延化し、既存都市地域の空洞化が顕在化してきている。

図表-1 アワニー原則とニュー・アーバニズム憲章アーバニズム憲章

	アワニー原則	ニュー・アーバニズム憲章
目的	過度の自動車依存からの脱却 無計画な郊外の都市化の防備 コミュニティ意識の喪失の解消 社会的建築資産の破壊の防備	
基本原則	コンパクト・シティの創造 公共交通機関の活用・省資源省エネルギー 公共空間の再生 都市と自然環境の共存 ランドスケープデザインによる地域のアイデンティティの確立	
特徴	伝統的なコミュニティ計画が基盤	空間デザイン、自然との共存を企図する包括的アプローチ

出所：カルソープ (2004)、www.lgc.org/ahwahneece/principles.html, Congress for the New Urbanism (cnu, org) を要約

人口増加が見込めない地域では、拡大、成長志向の姿勢を改め、成長した都市の機能を維持し、効率的で小規模で環境に配慮したエコシティを目指す成長管理 (growth management) の視点が重要になってくる (Faistain 2000, Pacione 2009)。人口が減少し、都市の規模が公共施設に対応できない場面も出てきており、急速に進む「都市縮小の時代」という危機感も提示されている (矢作 2009)。

こうした観点からは、コンパクト・シティの実現に目が向けられることになる。コンパクト・シティはアワニー原則やニュー・アーバニズム憲章でも基本原則として共通に取り上げられているが、徒歩を基本とする住みやすいまちづくりを目指すものである (海道 2001, 2007)。

コンパクト・シティは、静岡県島田市や、国土交通省東北地方整備局の一定都市への積極的な取り組みが知られているが、2008年に総務省によって発表された定住自立圏構想によっても裏打ちされている。地方への人口定着を図るこの構想は、人口5万人程度以上の市と周辺市町村が定住自立圏形成協定を結び、医療、福祉、公共交通、人材育成などでネットワークを形成し、共生ビジョンを共有するものである。フルセット型まちづくりの見直しである。<sup>注4</sup>

環境と共生し、まちづくりの担い手を育成し、コミュニティを大切にす、自律的なコン

パクト・シティへの取り組みが進めば、地域景観の再生 (統一感の確保) につながり、景観を基軸としたまちづくりにも拍車がかかる (中山 2010)。

都市景観の構造は、狭義の視覚的景観、物的に存在するが見えない景観、空間利用の動的景観、都市構造と土地利用原理、法制、社会経済システムなど見えない景観、市民意識・ココロの景観の6つの次元が考えられる (田村 2005)。これらは視覚中心の景観と非視覚的景観に分けられ、いずれが欠けても美しい景観は生まれないが、非視覚的景観への取り組みは時間と市民を取り巻くステークホルダーとの調整を必要とするため、庭先を花々で整備して通行する人たちや旅行客も鑑賞できるようにするガーデン・シティ構想 (静岡県伊東市など) などに目がむきやすい。

## 1-2. サステナブル・アプローチの広がり

持続可能なまちづくりを目指して、国土交通省が「「持続可能で活力ある国土・地域づくり」の推進について」を2011年に発表し、サステナブル都市の指標や住民の意見の反映の図式が模索されるようになった。

環境・経済・社会の3つの側面から調和を図りながら、一方でエネルギー政策の方向性の共有も、住民、行政、事業者の間で求められている (川村, 小門 1995)。

サステナビリティという言葉は、1987年に国連のブルントラント（Brundtland）委員会による報告書「Our Common Future」で使用され、1992年の世界環境サミットでサステナブルな（持続可能な）開発（sustainable development）にむけた合意が形成され、広く認識されることとなった（中口 2000, 2005）。

欧州では、1994年にデンマーク・オルボー（Aalborg）で第1回欧州サステナブル都市会議が開催され、オルボー憲章が採択されている。

2012年には、リオ+20で国連持続開発会議（UN conference on sustainable development）が、「我々が望む未来」（‘The Future We Want’）として、サステナブルな開発の重要性を論議している。

将来の世代のニーズを損なうことなく、今日のニーズを満たすような、サステナブルな開発に重点を置くサステナブル・シティの形成のためには、サステナブル指標が検討され、ランキングが表示されることでベンチ・マーキングを進め、全体的な底上げを図ることを目指すものである。ベンチ・マーキングとは、業務プロセスや経営スキルで最高峰の領域、優れた活動を見出し、その優位性を基準として、自らの組織に導入する試みである。この場合、同じ業界から学ぶだけではなく、継続的改善を目指す、学習する組織がイメージされる。

サステナブル指標として、平均賃金、雇用時間、労働市場の弾力性などの経済社会指標、有害物質の使用・管理、リサイクルの容易性などの環境指標、諸策の地域経済のニーズとの整合性、有権者の行動などの社会指標を、1994年に欧州委員会（European Commission）が掲げている。

わが国では、日本経済新聞社産業地域研究所が、全国市区に対して2007年から2年ごとに、これまで3回実施している。ここでの指標は、環境保全度57指標、経済豊かさ度6指標、社会安定度24指標であり、環境保全度を2倍にして算定している。

調査結果は3回とも上位は東京圏、中京圏、大阪圏の都市で占められている。環境配慮には資金力が必要であり、経済力の裏付けも必要であることを示唆している。

自然環境を保護し、農地を保全しながら、コミュニティを魅力的にして、地域の活性化を図る手法が、アメリカの環境保護庁（EPA）が取り上げたこともあり、成長管理はスマート・グロース（Getting to Smart Growth; Getting to Smart Growth II）として注目を浴びている。

100以上の実施のための施策が取りあげられているが、1960年代にバーモント州などから広がった成長管理を広域化した枠組みで、個々の自治体だけでは対応しきれない環境問題等への対処策から編み出された、都市の広域政策の一面もある。

わが国においても、サステナブルな取り組みを中心として、先進的な事例を分析しながら、自然環境の保全を図りながら、快適で安心して暮らせるまちづくりの構築が検討されなければならない。

## 2. ベンチ・マーキングと地域活性化施策

### 2-1. 千葉市アンケートの概況

地域活性化に関しても国内で多くの取り組み事例やデータが公開されているが、ここでは一般に公開されたアンケート結果やランキングデータから千葉市若葉区の地域活性化の進路や課題を探っていく。

千葉市の実施した「～魅力と活力にあふれるまちへ～千葉市1万人のまちづくりアンケート」によると、若年層・高齢者への対策の遅れ、防災も含め情報提供の遅れが危惧される。（末尾資料参照）

人口減少が続くなかで都市ブランドの確立のために千葉市として、魅力の明確化、特定化が求められる。

アンケートの中で子育て・健全育成、障害福祉への関心が、千葉市内の6区中のなかで若葉区が最も高いため、これらの項目にきめ細かく



対応することが求められる。これらの項目がトップの原因として、関連施設が区内に存在していることが考えられる。

一方、生涯学習、スポーツ・レクリエーション、都市の魅力、観光には関心希薄であるが、地域活性化のためには、この点にも注目したい。これらの項目の関心が希薄な原因としては、東京に目が向いている、東京で代替可能なことがあげられる。

昼夜間人口の格差が大きく、東京、他市への通勤通学者の多さが目立つベッドタウンの性格もある。昼間人口比率では、千葉市全体で97%に対し若葉区は84%であり、通勤通学で、若葉区から若葉区以外に出て行く人が多い。

## 2-2. アンケートによる人気のまち

諸外国に関する調査も行われているが、関東地方において、人気の高い住みたいまちをあげると、次のようになる。

ちなみに、千葉市は東京都渋谷区と並んで23位であった。

図表-2 住みたいまちランキング

	地域名	まちの特徴
1位	吉祥寺	井の頭公園を擁し、新宿、渋谷に鉄道で直結
2位	横浜	エキゾチックな国際都市、交通便利、商圏人口500万人以上
3位	自由が丘	買い物に便利なハイセンス、おしゃれなまちの代表
4位	鎌倉	古都鎌倉、歴史と伝統が感じられ、湘南海岸にも近い
5位	大宮	8つの鉄道路線が使える交通アクセスが魅力
6位	下北沢	若者パワーで賑わう、劇場関係者、芸能人多し
7位	新宿	新たな東京の中核都市、エネルギーギッシュなまちの代表格
8位	二子玉川	川沿いに高層マンションが新設され、計画的まちづくりが進む

出所：「みんなが選んだ住みたい街ランキング 2012版関東編総合ランキング」リクルート・スーモの順位に基づき特徴を追記

このなかで、東京都武蔵野市吉祥寺エリアを詳しく見ると、次のような特徴がある。

武蔵野市がバス停から300メートル以遠の地域を交通空白地域として、空白地域を最小にするルートを設定して、利用しやすい定時ダイヤを敷いて、コミュニティバス（「ムーバス」）を運行している。高齢者の移動距離を考慮して、バス停は200メートル間隔の設定が基本となっている。さらに、1日100往復以下の地域は交通不便地域とみなされ、その解消に努めている。こうした市側の努力が住みたいまちへの人気を高めていることがうかがえる。

千葉市若葉区のバスの運行路線をグーグルアースにマッピングしバス停から300m以内の箇所を白色で表すと地図-1のようになる。若葉区東部を中心に交通空白地域が発生していることが認められる。（次頁、地図-1参照）

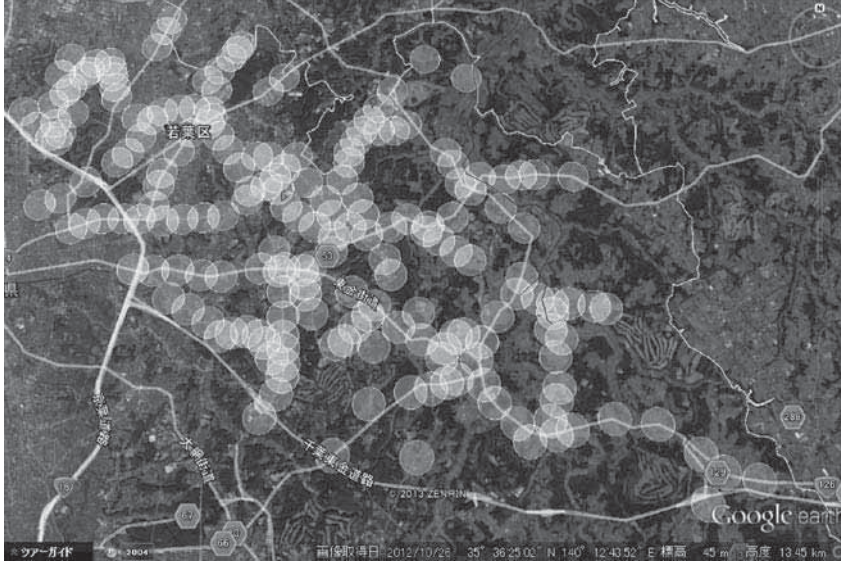
バス停が近くにあっても発着する本数には地区によって大きく異なっている、千葉駅と御成台車庫を結ぶ路線が通る千城台駅バス停では1日100本近くのバスが発着するのに対し、若葉区東部においてはコミュニティバスしか通っていないところが多く、その本数は1日で10本以下のところがほとんどである、また西部地区においても桜木やみつわ台などでは300mの範囲内にバス停が存在しない地区もある。

コミュニティバスの運行とパークアンドライド（P&R）の拡充が吉祥寺では進んでいるが、若葉区に隣接する四街道市の京成バス御成台車庫にて、高速バス利用を想定したP&Rを実施中である。

千葉市若葉区内の京成バス千城台車庫でも実施可能か、バスの稼働率から検討を要する。JR都賀駅前、モノレール各駅前では空きスペース不足で、実施は不可能な状況にある。

さらに、住んでみてよかったまちは（同調査）、横浜、吉祥寺、中野であり、住んでみて吉祥寺の満足度が高い結果となっている。

千葉市若葉区内の京成バス千葉営業所千城台



地図－1 千葉市若葉区のバス停から300m範囲の地域を白い円で表示したもの

出所：Google earthを用いて筆者作成

車庫でも実施可能か、バスの稼働率から検討を要する。しかし、JR・モノレールの都賀駅前を始めとして、モノレール各駅前では空きスペース不足で、実施は不可能な状況にある。

また、住んでみてよかったまち（同調査）、横浜、吉祥寺、中野であり、住んでみても吉祥寺の満足度が高い結果となっている。

別のデータから、住みやすさなどの観点で、『東洋経済都市データパック2012』に基づいて、千葉県内の代表的な人気のまちをあげると、次のようになる。

1. 印西市（第1位）利便性3位、快適性9位
2. 成田市（第10位）利便性16位
3. 柏市（第49位）快適性20位
4. 四街道市（第78位）
5. 千葉市（第118位）

これらの町で共通しているのは、交通至便で、大型商業施設があり、おしゃれな店舗や公園が整っていて、まちに個性、ストーリー性があることである。

これらのまちから学ぶところは、まちの独自

性を、まちの住民と醸成する、周囲から、訪れたい地域のひとつとして、イメージの向上を図ることになる。

そのためには、地域の自治体、住民が自律的な取組みを行い、地域の内外に情報発信をすることが、活性化施策の柱の一つとなる。

### 3. 若葉区の地域別人口構成比と地域活性化のための施策

#### 3-1. 若葉区の地域別人口構成の特徴

##### 3-1-1. 千葉市若葉区の地域別人口構成の特徴

千葉市若葉区の地域別人口構成は以下の地図2-1～2-4のようにあらわせる。データは「国勢調査平成22年小地域版」で、18歳以下の比率が、「薄＝低；濃＝高」を表している。

千葉市若葉区西部ではモノレール沿いのまちや都賀の台、大宮台など昭和40年代から造成されたまちに18歳以下が少ないことがいえる。一方それらの周縁地域の後から造成されたまちに18歳以下の住人が多いことがわかる。

若葉区を東西に分けてみると都賀駅がありモ



地図2-1 18歳以下の居住者の比率 薄=低 濃=高

ノレールが通る西部地区が18歳以下の居住者の比率が高く、東部地区は低い傾向にある。しかし若葉区周辺、千城台駅周辺の街区など早い時期に街が構成された街区においては18歳以下の居住者比率が低い。(地図2-1)

20～39歳の居住者が多い地区の特徴としてモノレールの通る街区、都賀駅の位置する街区の

周辺に位置している。これは初期に作られた街区の周辺に新たな住宅地が造成されそこに20～39歳の世代が居住するようになったからだといえる。(地図2-2)

若葉区を東西に分けてみると東部の地区に65歳以上の居住者の比率が高い地区が多くなっていくが西部地区でも千城台や都賀の台など高度



地図2-2 20歳～39歳居住者比率上位地区 薄=低 濃=高





地図2-3 65歳以上の居住者の比率 薄=低 濃=高



地図2-4 居住人口65歳以上の比率が多い地区 薄=低 濃=高

出所：図表2-1～2-4ともに総務省統計局 e-statとGoogle earth

成長期に造成された街区の65歳以上の比率が高くなっている。(地図2-3)

65歳以上の居住者の比率が多い地区は農村地帯であり緑区、東金市との区境にある大広町や中野町から高度成長期に入居が始まった大宮

町、千城台地区、都賀駅近辺の都賀の台と異なる地区に分散している。(地図2-4)

以上の状況の高齢化地区の上位地域と高齢化が進んでいない地域を抽出したものが次の図表-3である。



図表－3 20～30代比率上位地域と高齢化比率上位地域

町名	丁目	総数	20代	30代	20、30代	65歳以上	75歳以上
都賀	3丁目	1,501	13.3%	16.3%	29.6%	13.9%	12.8%
殿台町		932	12.4%	19.0%	31.4%	13.4%	3.5%
西都賀	1丁目	1,828	11.0%	18.4%	29.4%	11.4%	3.8%
西都賀	2丁目	1,517	13.1%	19.3%	32.4%	14.4%	4.7%
桜木	8丁目	1,590	11.1%	18.3%	29.4%	12.6%	4.2%
御成台	1丁目	433	12.7%	11.1%	23.8%	13.6%	4.4%
原町		2,323	11.7%	18.2%	29.9%	9.9%	3.3%
都賀の台	1丁目	1,129	4.8%	9.6%	14.3%	44.6%	13.1%
大広町		195	2.6%	3.6%	6.2%	73.3%	61.5%
大宮台	2丁目	674	5.5%	5.9%	11.4%	48.7%	22.0%
大宮台	3丁目	675	4.4%	8.9%	13.3%	44.4%	21.2%
大宮台	5丁目	743	5.4%	6.3%	11.7%	46.0%	21.1%
小倉台	7丁目	857	5.4%	8.2%	13.5%	46.0%	24.9%
佐和町		200	6.5%	3.5%	10.0%	48.5%	38.5%
更科町		730	4.0%	4.7%	8.6%	68.4%	55.6%

出所：平成22年国勢調査

### 3-1-2. 千葉市若葉区の開発経緯の概況

以下の地図3-1～3-7は、千葉市若葉区千城台周辺の昭和31年から平成24年までの約60年間の、地域開発の変遷を表している。

都賀駅はまだ開業しておらず（昭和43年開業）、現在の住宅地はほとんど存在せず、御成街道や坂月川の周辺に集落がみられるのみである。（地図3-1）

昭和31年の千葉市人口は20万7百人であった

（昭和31年千葉県衛生年報）。

都賀駅が開業し、小倉台が造成され入居が始まる。タウンライナーストリートや小倉いちょう大通りなど現在のメインストリートなる道路が一部開通した。（地図3-2）

昭和43年の千葉市人口は39万2千人であった（千葉県毎月常住人口調査報告書 年次統計版）。



地図3-1 地域開発の変遷 昭和31年



地図3-2 地域開発の変遷 昭和43年



地図3-3 地域開発の変遷 昭和55年

現在モノレールが通る路線周辺の街区の入居がほぼ終わり現在の小倉台、千城台地区の基礎がほぼ出来上がっている、また都賀駅周辺の住宅地も増えてきている。(地図3-3)

昭和55年の千葉市人口は74万1千人であった(千葉県毎月常住人口調査報告書 年次統計版)。

モノレールが開通し、現在の小倉台、千城台地区と変わらない住宅地構成が出来てまた桜木地区などのモノレールの駅が開業した地区などに新たに住宅地の造成が始められた。(地図3-4)

昭和63年の千葉市人口は80万7千人であった(千葉県毎月常住人口調査報告書 年次統計

版)。

小倉台、千城台周辺の住宅地がさらに数多く造成され始め東京情報大学の姿があり、御成台地区に入居が始まった。(地図3-5)

平成6年の千葉市人口は85万4千人(平成6年千葉県毎月常住人口調査報告書)、同年の若葉区人口14万9千人(平成6年千葉県毎月常住人口調査報告書)であった。

四街道市吉岡地区でも住宅地の造成が始まり入居がみられるようになった。(地図3-6)

平成10年の千葉市人口は87万2千人(平成10年千葉県毎月常住人口調査報告書)、同10年の若葉区人口は15万人(平成10年千葉県毎月常住人口調査報告書)であった。





地図3-4 地域開発の変遷 昭和63年



地図3-5 地域開発の変遷 平成6年



地図3-6 地域開発の変遷 平成10年





地図3-7 地域開発の変遷 平成24年

出所：地図3-1～地図3-7 国土地理院 2万5千分の1地形図 千葉東部

谷当町の一部が御成台となり四街道市吉岡地区の造成も終わり鷹の台と地名変更している。(地図3-7)

平成24年の千葉市人口は96万1千人(平成24年千葉県毎月常住人口調査報告書)、同24年の若葉区人口は15万1千人であった(平成24年千葉県毎月常住人口調査報告書)。

昭和31年にはなかった小倉台団地が昭和43年には描かれているが、住宅団地としてその後は規模がさほど拡大していない。昭和63年には、千城台に向かってモノレールが伸び、タウンライナーストリートや国道51号バイパスなどの道路が整備されてきたことが伺える。こうした過程で、モノレール沿線では高齢化が進んだ住宅が多いために、比較的若い人たち向けと商業地が集まるきっかけがなく、沿線の住宅地の周辺の地域、桜木や原町などに新たな住宅地が造成されそこに若年層が住み着いた状況が浮かび上がる。

### 3-2. 若葉区便利帳の作成

地域の住民に地域内で必要となる情報を正確

に伝達し、行政上の手続き等の円滑化を図るために地域で便利帳が発行されている。

千葉市の「ちば市民便利帳」は、千葉市と株式会社サイネックスが官民協働で平成23年4月に発行されている。便利帳内に多くのスポンサー広告が入り、千葉市の全世帯に無償で配布されている。A4サイズ175頁仕立てで、内容としては千葉市の観光地の紹介から、日々の生活で役立つ情報まで幅広く記載されている。

「ちば市民便利帳」は株式会社サイネックスの「わが街事典」の一種であり、気軽にいつでもつかえるよう電子書籍版があるため、若者などスマートフォンなどの使用に抵抗感のない人には使い勝手がいい。しかし、そうした電子端末などが使用できない人達にとっては便利帳の利用は紙媒体に限られる。

自治体が自ら作成していることで知られる船橋市との比較をしてみよう。

「ちば市民便利帳」の特徴

- ・便利帳の前半部分に観光、名所などの千葉市のガイドを20頁近く掲載している
- ・スポンサー広告料などにより無償配布のた

め、広告のボリュームが多い

- ・全体で175頁もあるため、索引もあるものの目的の頁が見つげづらい
- ・スマートフォンやパソコンで見ることが出来るように電子書籍版がある
- ・各ページの文字が小さい

「船橋市民便利帳」の特徴

- ・3頁目から救急医療などとなっている
- ・医療機関の所在地をマッピングした医療機関マップが各地域にある
- ・索引があり目的の頁がわかりやすい
- ・各ページの文字が小さい

千葉市と船橋市の便利帳の特徴から、便利帳の作成者が便利帳の利用者に発信したい情報が把握できる。千葉市においてはあくまで便利帳というのは観光面での千葉市の紹介ツールであり、生活に必要な情報よりは、観光情報に重き

をおいている。市民向けであるが、市民以外も意識した構成である。船橋市のものは、市内の住民が必要な情報を集めた必要最小限の便利帳であるといえる。

また、千葉市の便利帳は住民に無償提供するために多くのスポンサー広告を入れなければならない状況にあり、船橋のものとは比べると広告情報が多い。

どちらの便利帳にも言えることとして、文字が小さいことがあげられる。記載内容に詳細な説明が不可欠なこともあるが、細かい字を読む作業は難しい。

次に、船橋市以外の千葉県内の人口数の上位都市の近隣の便利帳の構成を見てみよう。

各市とも特徴ある構成となっており、項目の纏め方も順序も一様ではない。医療マップ（市川市、市原市）、世代ごとの手続き項目（柏市）、

図表－5 千葉県内の人口上位都市の便利帳の構成

	構 成	頁数
松戸市	松戸市ガイドとして先頭に26頁を使って市の名所や歴史、観光案内などを詳しく紹介している。行政ガイドとして各種手続きの方法や公共施設の案内に92頁、医療機関の所在地、電話番号などを記した生活ガイドが38頁になっている。	166頁
市川市	特徴として相談窓口の詳細、諸手続きの方法など実務的な項目にボリュームを割いた構成になっている。先頭に8頁使って市の受付窓口の所在地、電話番号が記載されている。次に生活ガイドとして各種手続きを15項目に分け各項目5～10頁ずつに分けて記載している。医療マップの項目で医療機関の所在地を地図で記したものが35頁、最後に会社広告が10頁となっている。	130頁
柏市	安心安全特集として7頁を割り、地震災害や放射能汚染など災害対策についての項目が先頭になっている。次に柏市の特産品、歴史スポーツチームなどを10頁にわたって載せている、ライフサイクルINDEXという検索方法を用いて年代別ごとに必要な手続きを項目わけしている部分が74頁、各種公的施設の利用方法と所在地を記した施設ガイド20頁、医療施設の所在地と電話番号を記したテレホンガイドが5頁となっている。	127頁
市原市	面積が広い市のため各街区に分かれたエリアマップを掲載している。救急防災が先頭で5頁、次に先述のエリアマップが25頁、各種手続きを目的別に検索できるようにしたライフインデックスを用いている。その項目が44頁、多文化共生市民活動について8頁、各種医療機関の所在地と電話番号、エリアマップでの座標位置を載せた医療施設一覧の項目が7頁、公的施設、交通機関の所在地、電話番号、案内が8頁、市原市の歴史、観光などの紹介が8頁、最後に医療機関の広告が9頁となっている。	128頁
八千代市	10章立て構成で施設ガイド、生活・環境、救急・消防・防災、相談案内、福祉と健康、年金・介護・市税、各種手続き、選挙・議会、まちづくり、各種ガイドの項目が10～20頁ずつで、最後に索引と企業広告となっている。カラー写真などを使わず簡素な体裁となっている。	145頁

出所：各市発行の生活便利帳

ライフインデックス（市原市）、歴史・観光（松戸市）への重心、広域への対応（市原市）などが各市の個性である

千葉市市民アンケートでは行政の情報開示が求められ、情報提供や相談体制の充実が求められている。若葉区民向けの、使い勝手の良い小冊子の作成のために、目的を絞って、印刷媒体とホームページ・ベースの両方を作成したい。

若葉区便利帳では、盛り込む内容として、以下の項目をあげたい。

- ① 病院等のあいている曜日・時間帯、健康診断実施状況
- ② 緊急時連絡先・集合場所、防災マップ
- ③ 家庭向け飲食・公園情報、地域イベント情報、サークル活動情報、粗大ごみ等連絡先、ごみの分別情報
- ④ 電車、バス、モノレール等交通機関の時刻表、シェアサイクル情報
- ⑤ 区内・近隣・お出かけ行楽スポット情

報、開花情報、スポーツ大会実施状況

- ⑥ フリーマーケット関連情報、物品交換情報
- ⑦ パート・アルバイト募集情報の提供元
- ⑧ ボランティア情報、便利屋さんなど依頼ごとの連絡先情報

次に、外国籍在住者、日本語の読めない人のための便利帳等の作成が必要になる。東京都福生市は米軍基地を抱え、多言語（英語、中国語、ハンブル、スペイン語、ポルトガル語、簡単な日本語）の便利帳を作成していることで知られ、茨城県つくば市（英語、中国語、簡単な日本語）なども便利帳で英語以外の記述がある。

中国籍の在住者の増加が著しく、韓国・朝鮮、フィリピン人の人たちの多さが特徴であるため、必要事項、情報をそうした言語に翻訳する必要がある。

図表－6 外国人住民数（男女・区別）

区名	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	全市
登録数	5,241	2,926	3,065	2,410	1,071	5,622	20,335
男	2,061	1,389	1,414	933	454	2,789	9,040
女	3,180	1,537	1,651	1,477	617	2,833	11,295

出所：千葉総務局国際交流課（2012年末現在）

図表－7 外国人住民数（区別・国別上位10か国）

区名	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	全市
中国	2,141	960	1,399	575	384	4,293	9,752
韓国朝鮮	1,585	469	521	672	311	426	3,984
フィリピン	719	316	279	557	121	213	2,205
タイ	116	67	51	148	46	33	461
ブラジル	54	285	37	18	17	20	431
米国	68	74	54	25	34	81	336
ペルー	24	195	43	22	3	13	300
ベトナム	52	64	53	39	27	59	294
ネパール	33	53	63	33	7	7	196
インド	39	18	44	3	2	79	185
その他	410	425	521	318	119	398	2,191

出所：千葉総務局国際交流課（2012年末現在）



## 4. 地域活性化策の検討

### 4-1. 歴史、自然遺産（観光資源）活用

2012年1月で、前年比で千葉県において、約1万人の人口が減少した。減少の上位5市は、市川市2,631人、松戸市1,916人、浦安市1,423人、銚子市1,190人、香取市1,033人である。さらに、2013年の1～6月期をみると、市川市704人、松戸市1,488人、浦安市548人、銚子市851人、香取市676人の減少となっている。

国立社会保障・人口問題研究所によって、千葉県内の人口減少は2017年と見込まれていたが、2011年の震災の影響も少なくない。

千葉市若葉区では目立った減少は見られないが、定住人口の維持確保のために、若葉区（地

域）で住民が誇りをもてる施策を展開していくことが求められる。

そこでまず、若葉区の名所旧跡、風光明媚な場所の選定し、コンテスト形式で区内の春夏秋冬のシーンを写真で切り取り、コミュニケーションを図る手段として展開していくことが地域活性化の方策の一つとしてあげられる。

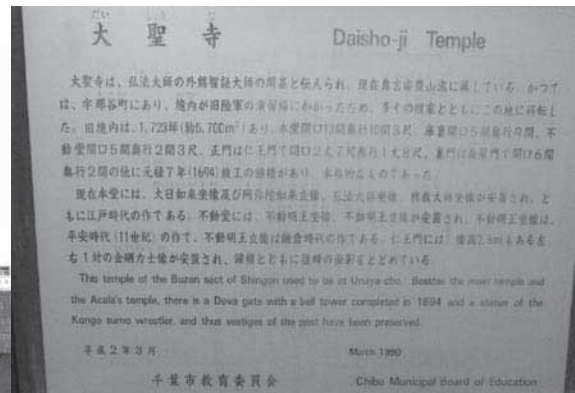
2003年制定の景観法に基づき、美観地区や風致地区以外の地区への景観への関心が高まり、個性あるまちづくりにつながってくるといえる。

### 4-2. 住民参加型イベントの展開

スポーツ大会開催（ロードレース、野球、サッカー大会、バレーボール大会）、多数の市民参加によるギネスに挑戦（縄とび、綱引き……）、散歩とサイクリング、ウォークラ



写真：本城寺の境内（千葉市若葉区中野町699）



写真：大聖寺（千葉市若葉区若松町2092）

リー：駅から散歩（楽しみながらまち・史跡や自然に触れる）などが、各地で催されており、千葉市若葉区でも住民参加型イベントの候補として挙げられる。

フリーマーケット開催、サークル活動（参加の方法・費用、新規団体設立・募集ガイダンス）の情報提供も有用であり、住民が主体となった活動により、余暇時間の充実化が期待できる。

#### 4-3. 千葉市若葉区独自のキャラクターの設定

各地にキャラクターが設定され、それらの個性や知名度が競われる状況となったが、「ゆるキャラグランプリ2012」では、全国から865体が参加、総得票数は約65万票であった。

グランプリは愛媛県「バリイさん」となり、千葉県「うなりくん」（成田市観光キャラクター）は16位であった。

「チーバくん」（千葉県マスコット・キャラクター）は46位、「カムロちゃん」（佐倉・城下町400年記念キャラクター）は57位、「さかサイ君」（柏市・逆井商店会のマスコット）は72位、「ホシーワン」（千葉ショッピングセンターC-oneキャラクター）は159位、「ふつつん」（富津市おもてなしキャラクター）は206位、「一宮一ちゃん」（一宮町キャラクター）は215位、「おたっきー」（大多喜町シンボルキャラクター）は296位、「ボッチ君」（八街南口商店街振興組合キャラクター）は377位、「エルファ」（市原ぞうの国オリジナルキャラクター）は380位、「くまのミミー」（松戸市ユニバーサル・サウンドデザインの公式キャラクター）は584位、「げんき君」（白子町シンボルキャラクター）は726位であった。

千葉市若葉区でも、近隣地域の情勢に呼応して、個性あるキャラクターの設定が求められる。その一方で、マスコット・キャラクターの氾濫で、マスコット・キャラクターだけで話題を集め、集客や地域の活性化につなげることは難しい状況にもある。「ふなっしー」のように

地域の住民が自ら制作し、展開していくことには、一定の意義はあろう。

#### 4-4. 若葉区検定の新設

千葉市若葉区に関する蘊蓄の検定、小学生からシニアまで参加を想定し、ランク（上級、初級）を設定；千葉市若葉区による認定書発行を行う。

ご当地検定とは、ある地域の歴史や文化、伝統工芸などについての知識を測定するものである。代表的な例としては「京都・観光文化検定」がある。この京都の事例の成功により全国の自治体がこぞって、検定の作成を始めた。問題は上級や初級などの階級の違いで難易度を変えることで、幅広い層の挑戦を促している。（参考問題参照）

京都・観光文化検定の成功の要因としては歴史的建造物の多さ、特徴的な文化、街並みなどを題材とした難易度が高くも、勉強した分だけ知識となる質のよい問題の作成の容易さ、マスメディアに注目されたために一気に全国的に知られるような状況になったことが考えられる。

千葉市若葉区検定作成の狙いとして、若葉区の魅力の発見、検定をきっかけとした若葉区への来訪者の増大につながるものがあげられる。千葉市動物公園や加曽利貝塚公園などへの関心が増大し、の来園者数の増加が期待できよう。また検定を若葉区内の小学生などに受検を促すなどし、自分達のまちはどういう個性や歴史をもっているのかを再確認できる機会にする。

検定は初級と上級を作成し、初級は小学生対象、上級は中学生以上といった難易度とし、インターネットで問題公開し、解答記入後に採点できるシステムを取り、幅広い層に受検しやすいようにする。

#### おわりに

ニュー・アーバニズムの検討やベンチ・マーキングの実施から、実施可能な多くの活性化策が想定できる。これらに優先順位を付け、行政

と住民が一体化して取り組んでいくことが重要になる。

サステナブル指標の合計値では、資金力のあるところの他の自治体の模範となるような施策が目立つが、資金的な裏付けがなくても、時間をかけないで住民が参加できる諸策に目を向けなければならない。OECD（経済協力開発機構）が1993年に公表したDPSIR指標のように大規模広範囲なものや公共交通機関のネットワークの抜本的な改善への、地方の自治体の織り組は難しい。LRV（Light Rail Vehicle）が導入されれば、環境配慮や交通弱者への対応が象徴的で、利用者の利便性も高まることは予想されるが、いくつかの自治体の検討に見られるように、導入までに想定以上の時間を要している。サステナブル評価指標において境配慮への比重が高まるなか、グリーン購入の割合、再生紙の利用率などを増やし、庁舎の壁面の工夫などで、小さな対応の積み重ねを行なっていくほかはないが、コンパクト・シティの構築に見られるような住民参加の自立的な取り組みの集約も併せて求められている。

## 謝 辞

本研究のとりまとめにあたり丁寧なアドバイスをいただいた、千葉市若葉区地域振興課地域づくり支援室の方々にお礼申し上げます。

## 【注】

注1 関西方面では、閑静で高級感を醸し出している夙川、岡本、西宮北口、芦屋川、三宮、御影、京都、宝塚、芦屋、大阪があがっている。

注2 街にあったら魅力的なものとしては、大きな公園、美しい町並み、商店街・アーケード、海・川・山などの自然の景観、大型商業施設（ショッピングモール）などがあがっている。日経MJ2011年3月8日

注3 「シーサイド」では、東西800m、南北400mの広がりはいせるが、ニュー・アーバニズムにおけるまちの基本的な形態は、半径400mのまちが4つ中間緑地帯で結びつくものや、

駅を中心に800mの放射状に広がるものなどが提唱されている。

注4 定住自立圏の取組状況（平成25年3月末）は以下のとおりである。

中心市宣言済み 84団体

定住自立圏共生ビジョン策定済み 75団体

定住自立圏形成協定締結又は方針策定 4団体

## 【参考文献】

Fainstein, Susan (2000) *New directions in Planning Theory*, 106-114, in Eugenie L. Birch ed., (2009) *The Urban and Regional Planning Reader*, Routledge.

Pacione, Michael (2009) *Urban Geography*, Routledge.

ピーター・カルソープ (Peter Calthorpe) (2004) (倉田直道, 倉田洋子訳) 『アメリカの都市づくり ニュー・アーバニズムの手法』学芸出版

川村健一, 小門裕幸 (1995) 『サステナブル・コミュニティ 持続可能な都市のあり方を求めて』学芸出版

佐々木宏幸・斉木崇人 (2010) 「ニュー・アーバニズム理論の特徴と変容に関する研究」芸術工学会誌 No.53. Sept. 72-79.

田村明 (2005) 『まちづくりと景観』岩波書店

中口毅博 (2000) 「持続可能な発展の指標に関する国内外の動向と課題」. 環境情報科学 29(3) p11-15.

— (2005) 「持続可能な発展の指標に関する国内外の動向と課題」地域政策レビュー Vol.16 15-20

中山徹 (2010) 『人口減少時代のまちづくり — 21世紀=縮小型都市計画のすすめ —』自治体研究社

民間都市開発推進機構都市研究センター編 (2004) 『欧米のまちづくり・都市計画制度』ぎょうせい

矢作弘 (2009) 『「都市縮小」の時代』角川書店

Home Page

武蔵野市ホームページ

(<http://www.city.musashino.lg.jp/>)

Japan for Sustainability 2005 (<http://www.japanfs.org/>)



参考資料 1

若葉区検定 上級編

第1問

若葉区に多くの町があり、そのなかに「多部田町」(たべた町)という名の町があります。この町の名前の正しいとされる由来を選びなさい。

- ① 千葉胤忠が「多部田太郎」と呼ばれていたことに由来
- ② 集会等で飲み食いする場所であり、そこで「食べた」から
- ③ 昔、多くの田んぼあった地域だから
- ④ 部田という名字の人が多く住んでいたことに由来

第2問

若葉区の南部の「五十土町」の読みを答えなさい。(ヒント：都川沿いの雷神社)

A \_\_\_\_\_

第3問

「廿五里城」の読みを答えなさい。ヒント：若葉区内の殿山ガーデン)

A \_\_\_\_\_

第4問

若葉区に存在する「市民の森」の数はいくつでしょうか？

- ① 3    ② 5    ③ 7    ④ 8

第5問



写真：加曾利貝塚博物館  
(千葉市若葉区桜木8丁目33-1)

千葉道路建設に際し、保存された加曾利貝塚公園の貝塚の形はどのようなものでしょうか？

A \_\_\_\_\_

第6問

若葉区小倉台にある「小倉いちょう大通り」に関して、この通りのいちょうの本数(両側の合計)はどれくらいでしょうか。



写真：小倉いちょう大通りの始終点  
(千葉市若葉区小倉台3丁目)

- ① 約100本    ② 約200本    ③ 約300本
- ④ 約400本

第7問

千葉市若葉区の人口密度とほぼ同じくらいの地域の正しい組み合わせはどれでしょうか。

- ① 千葉市緑区、千葉市稲毛区
- ② 神戸市西区、横浜市西区
- ③ 横浜市緑区、横浜市青葉区
- ④ 千葉市緑区、神戸市西区

第8問

千葉市若葉区の面積はわが国の他の地域のどこと同じくらいでしょうか？

- ① 福岡市西区    ② 大阪市浪速区
- ③ 横浜市西区    ④ 東京都千代田区

第9問

JR都賀駅に関して、1912年の信号場から1965年に仮乗降場になり、今日の形態になったのはいつでしょうか。

- ① 1968年    ② 1972年    ③ 1976年
- ④ 1979年

### 第10問

千葉市若葉区内の御茶屋御殿に関して、1614年に建設した人物は誰ですか。



\*写真：御茶屋御殿跡（千葉市若葉区御殿町2548）

- ① 菅茶山
- ② 土井利勝
- ③ 毛利元就
- ④ 北条早雲

## 若葉区検定 初級編

### 第1問

若葉区の面積は千葉6区の中でどれくらいでしょうか？

- ① 千葉市内の6区の中で一番広い
- ② 千葉市緑区に次いで広い
- ③ 千葉市花見川区に次いで広い

### 第2問

次のシンボルマークは何をイメージ化したものでしょうか？



- ① 若葉区の若葉のローマ綴り「WAKABA」の頭文字のW
- ② 田畑を動物が飛び跳ねる様子
- ③ 若葉の頃の2つの鯉のぼり

### 第3問



写真は2012年7月に導入された新車両ですが、千葉モノレールの特徴は？

- ① 懸垂式で、神奈川県湘南モノレールも同様の走行システムをもつ。
- ② 跨座式で、世界にも設置例がない。
- ③ 跨座式で、登坂力に勝るが、エンジン音が高くなる

### 第4問

千葉モノレールの名称は？

- ① エースライナー
- ② アーバンライナー
- ③ アーバンエース

### 第5問

若葉区内にある千葉モノレールの駅の数はいくつ？（モノレール全線の駅数は18駅）

- ① 4駅 ② 6駅 ③ 7駅

### 第6問



写真：加曾利貝塚公園

加曾利貝塚は世界最大級の貝塚ですが、貝塚とはなんでしょう？

- ① 古代の人が貝などを捨てたゴミ捨て場のこと
- ② 貝のように土地が盛り上がっているところ
- ③ 貝の形をした公園

第7問

加曾利貝塚では土器が出土しています。何時代の土器が出土しているのでしょうか？

- ① 平安時代
- ② 縄文時代
- ③ 春秋戦国時代

第8問



千葉市若葉区の泉自然公園にあるこの橋はなんと呼ばれているのでしょうか。

- ① わかば橋
- ② みどり橋
- ③ いずみ橋

第9問

千葉市動物公園のレッサーパンダ「風太」くんは、ある姿勢をとることで一躍有名になりました。どんなことをしていたのでしょうか？

- ① 前足で器用に逆立ち絵をかく
- ② 後足2本で立つ
- ③ でんぐり返しをしておじぎする

第10問

千葉市動物公園には144種類の動物が飼育されていますが、全種類あわせておよそ何点（数）いるのでしょうか？

- ① 205
- ② 690
- ③ 850

上級答え

第1問	第2問	第3問	第4問	第5問
①	いかづち(ちょう)	つうへいじじょう	②	馬蹄形
第6問	第7問	第8問	第9問	第10問
③	④	①	①	②

初級答え

第1問	第2問	第3問	第4問	第5問
①	①	①	②	③
第6問	第7問	第8問	第9問	第10問
①	②	③	②	③



参考資料2

千葉市民アンケート「～魅力と活力にあふれるまちへ～千葉市1万人のまちづくりアンケート」千葉市総合政策局総合政策部政策企画課実施時期 平成24年1月27日（金）～2月17日（金）

